

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新しい社会 地理</h1>	2 東 書
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き 1 単元が「導入資料」→「学習課題」→「本文」→「チェック&トライ」の流れで構造化されており、学習内容が確実に定着できる構成である。 ○「基礎・基本のまとめ」において、学習した知識や技能を確認することができたり、「スキル・アップ」において、地理学習の知識・技能を系統的に習得させたりすることができるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の導入部に「見方・考え方」を明示したコーナーを設け、展開部では写真・グラフ・地図などの資料を豊富かつ効果的に配置し、「資料から発見」のページなどを通して、思考力や判断力が身につけることができるようになっている。 ○「ウェビング」「トゥルーミン図式」といった、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、学びを深められる内容である。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な開発目標（SDGs）や、領土をめぐる問題など国際社会の経過や現状に目を向け、解決のために出来ることを通して、社会に参画する力を育てられるような内容になっている。 ○第 4 章「地域の在り方」の学習では、設定した地域課題や変容に注目したり、地域の将来像を提案したりする活動を充実させ、主体的に社会の形成に参加する資質や能力を養えるように工夫されている。 <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元を貫く「問い」である「探求課題」を中心に単元が構造化されている。また、単元のまとめの活動として、「探求のステップ」に取り組むことでパフォーマンス課題にもチャレンジできる構成になっている。 ○小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」や、単元の学習終了後に「もっと地理」といった項目が、より深い理解の手助けになる。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○本文を補完する学習効果の高い資料を豊富に大きく掲載し、効果的に学習できる。資料掲載部分に色付けをして本文との明確化が図られている。 ○ICT機器を活用して利用できる「Dコンテンツマーク」に利用し、学習効果の高まりが期待される。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての文字にUDフォントを使用し、文体も敬体であり、難解な用語については巻末に用語説明を設けている。 ○適宜、ゴシック体で文字濃度を変えたふりがなも付されている。小学校内容もマークで示されており、系統的に把握でき、学習に集中出来るように、フラットなデザインである。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○1 単位時間ごとの学習内容の確実な定着のための工夫と、多様なツールを活用して学習内容を考察するまとめの活動が一貫している。 ○国際社会の経過や現状に目を向けたり、地域の将来像を提案したりする活動により、社会の形成に参画する力を育てる構成となっている。 ○他の分野と関連している資料や特設ページには、「分野関連のマーク」が設定され、三分野の系統的な学習が展開できるように工夫されている。 	

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">中学社会 地理 地域にまなぶ</h1>	<div style="text-align: center;">17 教出</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容のイメージを膨らませる主題と学習事項を端的に示した副題を明示して、学習内容を自分事として捉えられる構成になっている。 ○本時の学習の中で、重要な語句など基礎的な事項の「確認」ができたり、章や節の学習のまとめでは、基礎的・基本的な知識が習得できたりする構成である。 ○「地理の技」コーナーを設け、地図作成などの技能が身につけられるようにしている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習の中で、重要な語句など基礎的な事項の「確認」とともに、本時の学習を言葉で表現し、対話したりすることで深い学びにつなげる「表現」の項目によって学習が深まるようになっている。 ○本文の流れに即し、資料を丁寧に読み解きながら考察する学習を重視した「読み解こう」や「Q」のコーナーを手がかりに取り組みることが出来るようになっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域社会での交流やボランティア活動に取り組む人々等の事例を積極的に取り上げ、社会の形成者または主権者として社会に参画する意識を高めることができる教材・内容である。 ○特設ページとしての地域社会（EU統合の課題など）や持続可能な社会などを考えることができる話題などをピックアップした展開になっている。SDGsや領域をめぐる問題などの社会的な課題について、多面的・多角的に捉え、考察することが出来る内容になっている。 <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターネットを活用して学びを広げることができる「学びリンク」を設け、身近な地域から社会を考えることができる教材・内容である。 ○地域調査の方法を学ぶ学習において、レポートの話し合いや意見交換、グループでの野外調査、調査結果発表の場面を設けている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○社会科学学習に不可欠な写真・イラスト・地図・グラフなどが豊富に掲載され、出典と併せて視覚的に捉えやすいように配置されている。 ○巻頭や折り込み、扉ページを有効に活用したレイアウトになっている。小学社会のキャラクターがそのまま成長した姿が描かれている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒にとって見やすい、ユニバーサルデザインに基づく紙面作りがされている。 ○指示しやすいように、各資料には通し番号が付けられている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○「導入ページ」→「本時のページ」→「特設ページ」→「学習のまとめと表現のページ」と続く一連の内容構成が、見通しを持ち、振り返りの学習にも取り組みやすい構成になっている。また、本時のタイトルは、目を引くものとなっている。 ○地理だけでなく、歴史・公民との関連ページを示した「関連」の欄が設けられている。 	

書名 項目	<h1>社会科 中学生の地理</h1> <h2>世界の姿と日本の国土</h2>	4 6 帝 国
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1 単元が「導入」→「学習課題」→「本文」→「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化され、基礎的知識・技能が確実に理解できるようになっている。 ○「技能をみがく」のコーナーが23カ所設けられ、「地理的な見方・考え方」を働かせる上で必要な基礎的な技能が習得できるよう配慮されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○本文ページの見開きの右下には、自分なりに判断・表現する問いである「説明しよう」が設置されている。これにより、言語活動を毎時間繰り返し行い、思考力・判断力を育成できる。 ○各章末には、「章の学習を振り返ろう」が配置され、章の学習で得た知識を生かして、「地理的な見方・考え方」を働かせつつ、単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する課題が設けられている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが明記されている。小学校で学習する「日本の国土」などの内容をより深化させる学習ができるようになっている。 ○「防災」「環境」「共生」といったテーマが公民的分野へのスムーズな接続につながっている。 <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○コラム「未来に向けて」が25カ所設置され、社会に対して生徒自身がどのように参画していくかを発展的に考えることができるようになっている。 ○単元を通してそれぞれの問いを考えていくことで、課題解決的な学習ができる構成になっている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○写真・地図・グラフが大きく、見やすく配置されている。「日本・世界の諸地域」などでは、各節の冒頭に「イラスト地図」「導入写真」が設けられ、地域への興味・関心を高めてから学習に入ることができるようになっている。 ○ICT機器を活用して利用できる二次元コードが設けられ、学習効果が高まるように工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各ページ、見開き左上に、1時間ごとの導入となる資料が配置されている。ワイドな写真からはイメージが喚起されやすい。紙面右端にインデックスが表示され、全体の位置づけを確認できる。 ○本文ページ下で小学校で学習した内容を確認することができる。また、本文ページ下段には「歴史的分野・公民的分野」との接続ができるように関連用語が提示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○「単元を貫く問い」が設けられ、「確認しよう」「説明しよう」といった学習の流れが深い学びにつながるような、学習活動につながるよう工夫されている。 ○写真・地図・グラフが大きく、見やすく配置されている。各節の冒頭に「イラスト地図」「導入写真」が設けられ、地域への興味・関心を高めてから学習に入ることができるようになっている。 	

書名 項目	<h1>中学社会 地理的分野</h1>	116 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">日 文</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習課題が明示され、見通しをもって進めることができ、確認コーナーが設けられ、基礎・基本的な内容を定着させる構成である。 ○「スキル Up」コーナーでは、グラフ等資料の見方について丁寧に説明され、グラフや地図の作り方等地理的技能を系統的に身につけられる構成である。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習課題の理解を深めさせるため、地理的な見方・考え方を働かせる問いを「深めようコーナー」として設け、習得した知識を定着させ、活用させる構成である。 ○「トライ」・「スキルUP」・「アクティビティ」・「チャレンジ地理」なども含めて、毎時間、思考力・判断力・表現力等を育成するための場面を設定し、随所で生徒が自分の言葉で表現できるように構成されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界や日本の今日的課題について、生徒が主体的に考察できる教材を取り上げている。「地理+α」や「自由研究」といったページで、地理的分野の学習を掘り下げ、学習内容を深めている。 ○持続可能な社会を実現するための諸課題を取り上げ、諸課題を自らの問題としてとらえ、その解決を目指して行動できる態度を培うことができる構成になっている。 <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な災害や防災（自助・共助・公助）について体系的に詳しく学習できる。 ○「地理との出会い」で地理的な見方・考え方をつかみ、本文ページの「見方・考え方コーナー」で学習課題の解決に向けた手がかりとなる地理的な見方・考え方を働かせることができるように工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT 機器を活用して利用できる「教科書 QR コンテンツ」が設けられ、学習効果が高まるように工夫されている。 ○主題図や雨温図を体裁、配置、サイズを統一して掲載することで、地域的特色の理解・比較を容易にしている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きページの右端にインデックスを設け、学習している単元が常に分かるようになっている。重要語句（太文字）にはすべてふりがなが付されている。 ○資料を用いた活動を示す「資料活用コーナー」、教科書内で関連する事項同士を結びつける「参照ページコーナー」、小学校の学習や、歴史的分野・公民的分野とのつながりを示した「連携コーナー」が示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題に対して、見方・考え方のポイントが示され、学習課題に対応した「確認」において、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る構成となっている。 ○小学校の学習とのつながりや、歴史・公民とのつながりが示した「連携コーナー」が示されていたり、「アクティビティ」「チャレンジ地理」などの理解を深めたり、関心をもって学習を広げることができるコラムが工夫されている。 	